

サウンドスタジオ演習

Hiroshi Yamato

**午前中は巻いていくので
自己紹介とかしません**

演習のゴール

- 自力、もしくは相互補助で録音/再生が出来ること
- 必要な機材の名称と扱い方を理解すること

逆引きテックライダー

- 2人一組になってもらいます
- すでにスタジオに録音ができる状態を作っております
- 筆記用具があるはずなので配線の状態を調べて書き移してください。
- マイクの名称、配線の種類と長さ、ミキサーのどこにつながっているか、などなど
- あとで再現できるように書いてね

機材の名称

- マイクは大きくわけて2種類。ダイナミックマイクとコンデンサマイク
- ケーブルは3種類(XLRキャノン、TSフォン、TRSフォン)
- 他にRCAピン、ミニピンなどあります

音を出すには

- パソコン→Audio I/O→ミキサー→スピーカーと接続されているのでミキサーの機能を確認します
- 基本はステレオソースを再生するには 1)ステレオソースをモノラルのチャンネル2つに立ち上げる。2) それぞれPanを振りきる 3) それをStereoアウトにアサインする
- ミキサーに寄ってちがうので借りるときにシステムで確認するといいです

曲を聞こう

- の前に。スピーカーの型番を調べてあとで値段をググってください。基本的に音楽機材は「高価」「壊れやすい」です。スピーカーのコーンに触るとか現場に寄っては殴られるので注意。マジで注意。友達のだったりするとスピーカーだけでなく友情も壊れます
- 音数の少ないソースを聞くことにします
- どれくらいのトラックを使ってるか想像しながら聞いてみましょう (数えられる人は数えてみて)

聞いた曲について

- The Policeの”Every breath you take” (放題「見つめていたい」ラブソングだと思われているが、実はストーキングの歌。Stingのインタビューで本人が言っていた)
- アルバム”Synchronicity”(1983) からの大ヒット曲(イギリスにおいて4週連続、アメリカのビルボードにおいては8週連続1位。アルバム自体はビートルズの記録を始めて塗り替えたはず)
- エンジニアは名プロデューサーで名エンジニアのヒュー・パジャム

そんなに音多くないよね？

それを踏まえて午後やること

- A/B班に判れてセッティング→録音→片付けをやります。
- A班の時はB班が音を出す側
- A班が録音の場合、どんな録音作品(音楽である必要はないです)を作るかはA班で決めて昼の内に音の出るものを集めてきて、B班に指示してプレイヤーをディレクションする
- 逆も同じ(3限はA班が録音側、4限はB班が録音側)
- 制限時間は午後の開始時間から1625までの1/2ずつ。片付けを含むので時間の使いかたも考えてね。

では今出ているものを
全部片付けます。

しつこいようですが
雑に扱うと壊れます

では何を録音するか
考えて音源揃えてきてね

時間があれば総評
というかみんなで聞こう